

パソコンが動かなくなった時の対処法

1. はじめに

パソコンのハードウェアは精密機械ですので、物理的な衝撃を与えると壊れやすいものです。しかし、ソフトウェアをわけもわからずに操作したとしてもハードウェアが壊れることはめったにありません。

パソコン初心者がソフトウェアを操作しておこす問題には、基本ソフトに属するファイルを削除してパソコンが動かなくなる（固まってしまう、または、起動不可能になる）ということがあります。文書ファイルなど自分で作成したファイルは、自分で削除しても問題はありますが、自分の知らないファイルは基本ソフトに属している可能性がありますから、削除しないように注意して下さい。

また、使用者の操作ミスのみではなく、基本ソフトに内在している不具合によってパソコンが動かなくなることもあります。

しかしながら、万一ソフトウェアの操作ミスや不具合などによってパソコンが動かなくなっても、復旧させる方法があります。

Windows 95, Windows 98, Windows Me 等の基本ソフトでは、一つのアプリケーション・ソフトが固まって動かなくなると、多くの場合はシステム全体に影響します。Windows の終了を行って、再度パソコンを起動しましょう。

パソコンが固まってしまって通常の終了方法でパソコンを終了（シャットダウン）できなくなった場合には、以下の方法で終了します。

まず一つ目の方法として、「Ctrl」キーと「Alt」キーを押しながら「Delete」キーを同時に押し、数分待ちます。再度「Ctrl」キーと「Alt」キーを押しながら「Delete」キーを同時に押し、Windows を終了した後、システムが再起動されます。

これらのキーが反応せず、パソコンを終了できない場合には、（最後の手段として）電源スイッチをしばらく押し続けると電源が切れます。ただし、これらの操作はパソコンが正常に動いている時には決して行わないようにして下さい。

パソコンが起動不可能になった場合（パソコンの電源スイッチをオンにしても Windows が正常に立ち上がってこない場合）は、以下の方法で回復させることができます。

2. リカバリ CD-ROM の使用

購入したパソコンのパッケージには通常、メーカーが用意したリカバリ CD-ROM と呼ばれるソフトがついています（CD-ROM 以外の方法で提供されている場合もあります）。パソコンが起動不可能になった場合

は、この CD-ROM を使用することによって、パソコンを購入時の状態に戻すことができます。これらの操作方法は、メーカー及びパソコンの機種によって異なりますので、パソコンに添付されている説明書に従って操作する必要があります。詳しくは説明書に書かれているメーカーの連絡先に問い合わせして下さい。

ただし、自分で導入したアプリケーション・ソフトがあれば、リカバリ CD-ROM でパソコンを回復した後、自分で導入しなおす必要があります。また、文書ファイルなど自分で作成したファイル類は、予め自分で（フロッピー・ディスクなどに）バックアップ（コピー）しておいたものからコピーし直す必要があります。これらの煩雑な作業を自動的に行うソフトを添付しているパソコンもありますので、詳しくはパソコン添付の操作説明書またはメーカーに問い合わせして下さい。あるいは、下記 1.4 の市販のソフトを利用すると自動化できます。

3. Windows Me のシステム復元機能を利用する

Windows Me には問題が起こる前の状態にパソコンを復元する機能があります。ただし、この復元機能は、アプリケーション・ソフトの導入時などの誤ったシステム設定によって不具合が生じた場合に、システム設定を以前の状態に戻すためのものです。自分で作成したファイル類が壊れたり削除されたりしても、それらを復元する機能はありません。自分のファイル類は、やはり、予め自分でバックアップしておいたものからコピーし直す必要があります。

システム復元機能は「スタート」ボタンをクリック 「プログラム」 「アクセサリ」 「システムツール」 「システムの復元」の順に選択すれば起動できます。

4. 市販のソフトを利用する

パソコンの内容のバックアップと障害時の復旧を簡単に行うためのソフトは、例えば市販の製品としては、Roxio GoBack (<http://www.roxio.co.jp/goback3/>) があります。

[商標および登録商標]

Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。また、本書で記載されている会社名と製品名は各社の商標の場合もあります。